

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第188号
230130

1月の遊学の森の様子



1月の高丸山です。山は冬ごもり中。今年は雪が多いので、あちこちで雪が残っています。



森づくり区画の道にも雪が残っていました。ふわふわした軽い雪で、歩くとさくさく音がします。



遊学の森を歩くと、静かなものです。ときおり野鳥の音が聞こえます。春は遠いなあ。



森づくり区画の外周ネットの内と外では、植物の様子が異なります。シカの影響は大きいです。



雪が残っているところには、動物の足跡が点々とあります。何の動物だろう。



ふと足元を見ると、霜柱がたくさんありました。雪がなくても寒さが分かる。でも冬の名物です。

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 1月5日～1月31日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	1月 8日 22日	4カ所 3カ所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周に張っている、獣害被害防止ネットの補修状況です。 今月は、創造の森の周辺での、ネットのかみ切り被害がありました。遊学の森はほとんど被害がありません。被害が少なくて何よりです。今年の冬は雪が多いようで、動物たちもふもとに下りているのでしょうか。2月は増えるかもしれないので、引き続き見回りをしていきます。

■トピックス

●森づくり区画の変化

高丸山の森づくり区画では、平成16年から広葉樹の苗木を3年間にわたって植樹しました。そのあと植樹期間も含めて今年度まで草刈り、除伐、間伐と育林作業が続いています。森の変化を見ると、いかに育林（草刈り）が大事かがわかります。



H16年度。植樹もして草刈りもします



H18年度。苗木を草刈りで掘り出し



H20年度。苗木より草のほうが高い



H22年度。草から苗木が出てきました



H24年度。18年度と同じ角度から



H26年度。人の背丈を越えてきました



H28年度。草の量も少なくなります



H30年度。18年度と同じ角度から



R2年度。除間伐が必要になっています

●高丸山の道路情報

今年は10年に1度の大寒波がやってきて雪が降ったように、雪が多めの年のようなようです。天気予報で「山地で雪」と言われると、高丸山ではたいい雪が降っています。そのため、高丸山の町道の積雪は凍結し、ツルツル路面になっています（写真左）。また、日中太陽があたり、路面凍結が解消されるところもありますが、そのようなところは、法面から土砂が崩れ落ちてきています（写真右）。現在、走行は不向きな状況ですので、車を冬装備にしていなくて、運転が慣れない方は、しばらく山行きをお休みください。



千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennenmori@@kkcatv.jp

※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。http://www.1000nen.biz-awa.jp